

研究課題：小児の単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術において執刀医の利き手が及ぼす影響

1. 研究の目的

小児においては多くの施設で腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術が行われております。当院では単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術（以下、SILPEC）を取り入れており、左右で操作、執刀医の利き手が作業効率や術後成績に影響を及ぼす可能性があると考え、今回その関係性を調査し報告します。今回の検討結果から、利き手を考慮して手術を行う必要があるかを評価でき、今後の小児鼠径ヘルニア手術の発展と向上に良い影響を与えられると考えられます。

2. 研究の方法

2024年4月1日から2025年3月31日までに当院でSILPECを施行された症例の診療録を用いて検討します。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から2030年12月31日までです。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、入院時・手術時の状態や検査所見、既往歴や併存疾患、手術時期や手術内容、および術後の経過を含めた合併症についての情報を調べまとめます。画像や動画（個人情報は一切含まない）が論文内や学会発表に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外科 科長 川嶋 寛

研究分担者：外科 医長 高城 翔太郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）